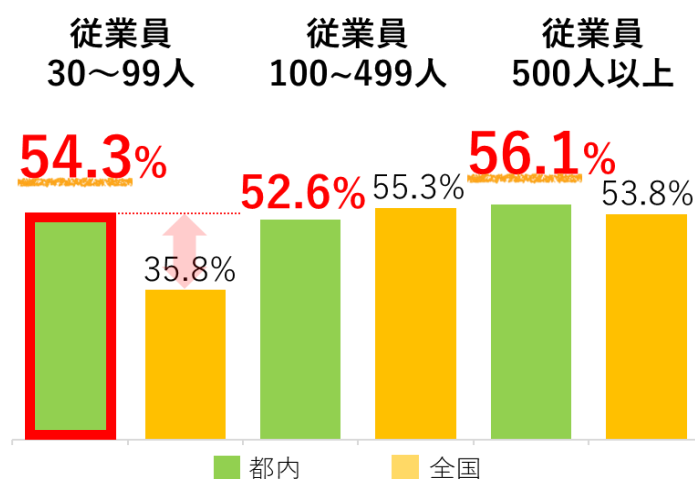
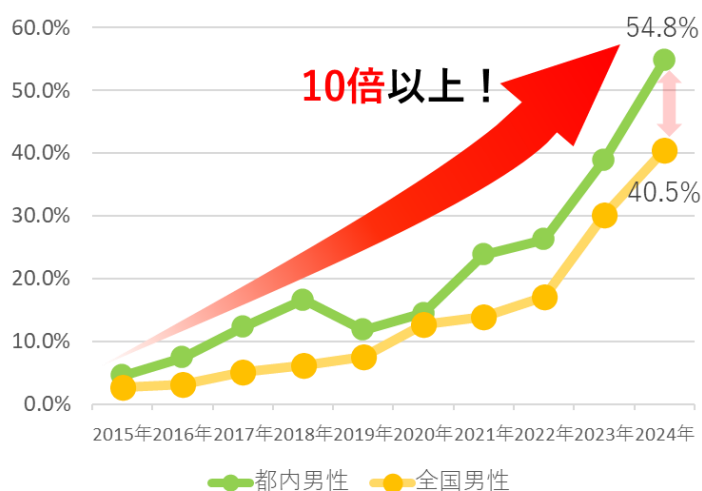


「育業応援ポケットブック」概要

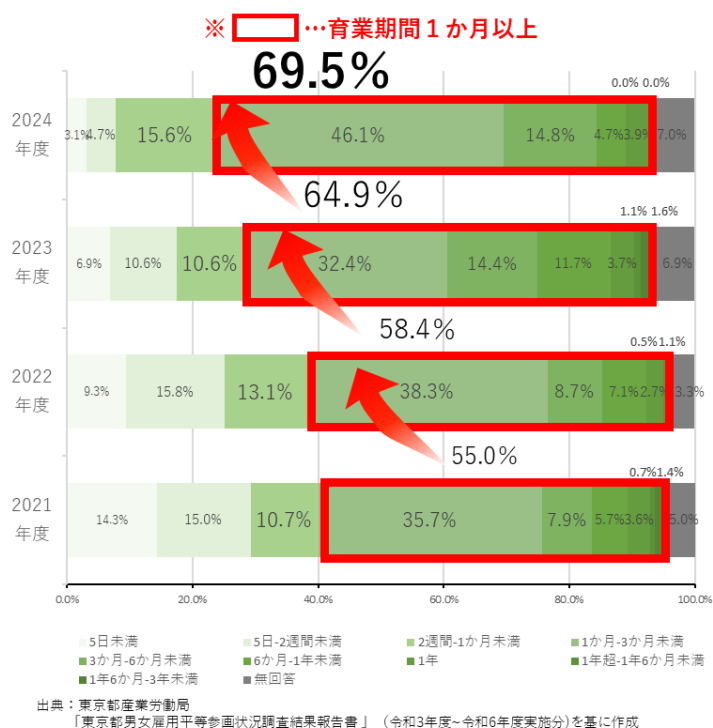
1 育業の現状

- ・都内の男性育業取得率：54.8% → 2人に1人が育業している
- ・都内では企業規模にかかわらず育業が広がっている
- ・都内男性の育業期間は年々長期化（2024年度：約7割が1か月以上育業）
- ・就活生の8割以上が育業重視

<都内・全国の男性育業取得率>

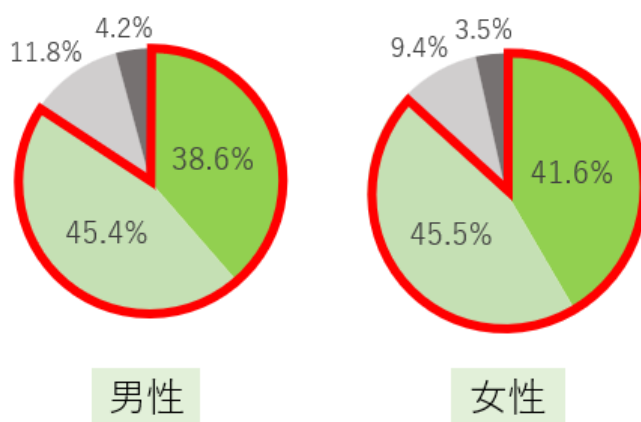


<都内企業における男性育業期間>



<就活生も育業重視>

「育業取得率の高さ」や「育業期間の長さ」を企業選択において重視するか



2 男性の育業のメリット

育業を推進することにより、企業、職場等に与えるメリットを紹介

<企業にとってのメリット>

メリット① 企業イメージの向上

育業取得率が高い企業のイメージ

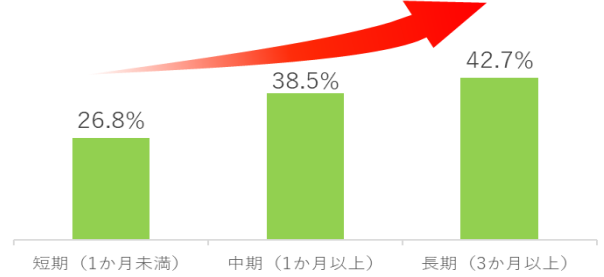
- 1 働きやすそう
- 2 社員のことを考えている
- 3 様々な考え方に対して理解がある
- 4 会社の雰囲気が良さそう
- 5 長く勤められそう

出典：東京都子供政策推進室「就職を予定する大学生等の「育業」に関する意識調査」（2024）を基に作成

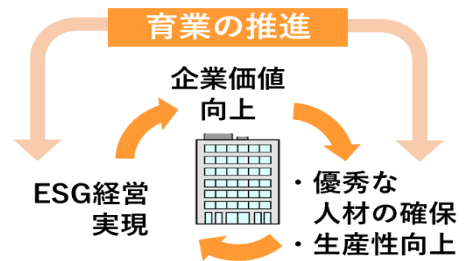
メリット② 労働生産性の向上

企業からみて

業務の見直しや属人化解消の効果を実感したか
（男性の育児休業取得期間別）



メリット③ 企業経営が好循環



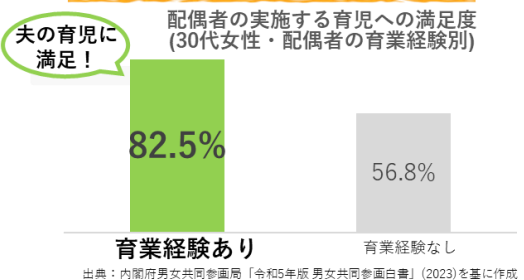
<職場にとってのメリット>

- 78.2% 職場の人の家庭環境等に配慮するようになった
- 効率的に仕事を行うようになった
- 64.6%
- 55.8% 視野が広がり、これまでと違った発想ができるようになった
- 55.7% 仕事に対するモチベーションが向上した
- チーム内で積極的な情報共有を自ら行うようになった
- 53.5%

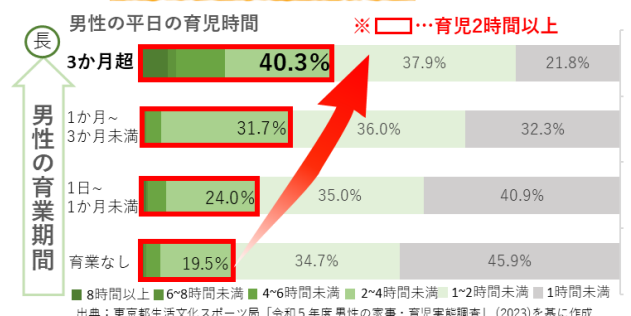
※育業した男性に対する「育業したことでの良い影響」についてのアンケート結果
出典：21世紀職業財団「【第4回継続調査】DEJ推進状況調査（2024年実施）全体版」（2025）を基に作成

<夫婦にとってのメリット>

夫の育児に対して妻が感じる満足度は「夫に育業経験あり」の方が高い



より長い期間育業した男性ほど、育業後の育児時間も長くなる傾向



※詳細は、こどもスマイルムーブメントホームページをご覧ください。

https://kodomo-smile.metro.tokyo.lg.jp/ikugyo/ikugyo_articles/34